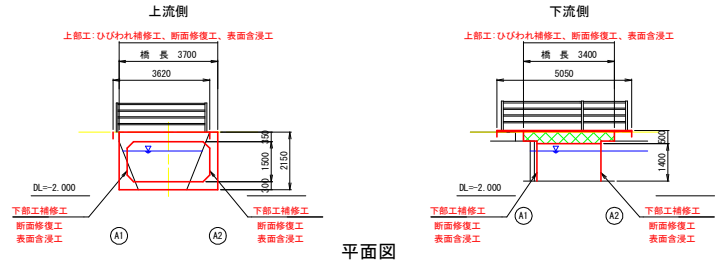
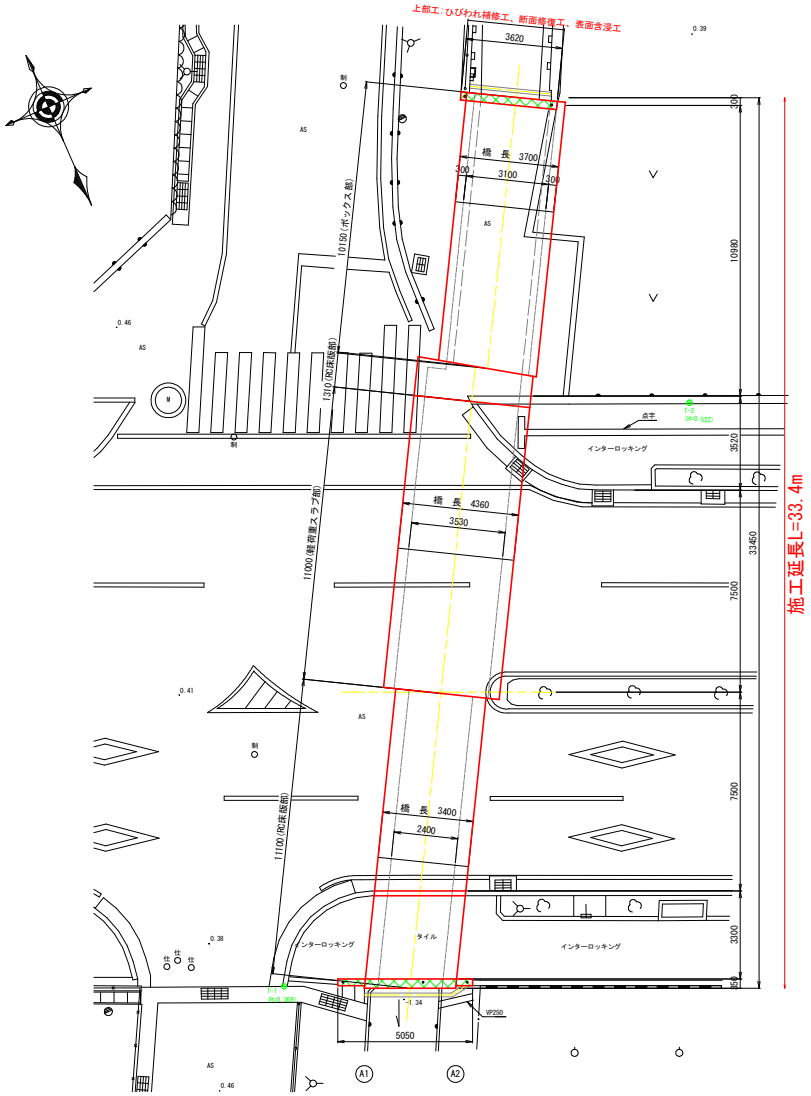
里浦9号橋 補修一般図　S=1:100

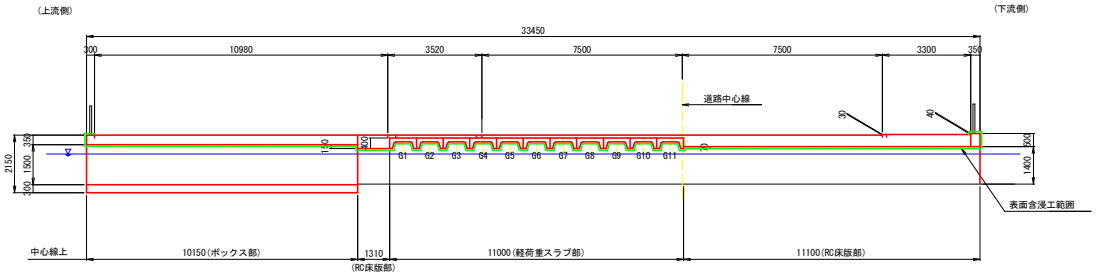
側面図



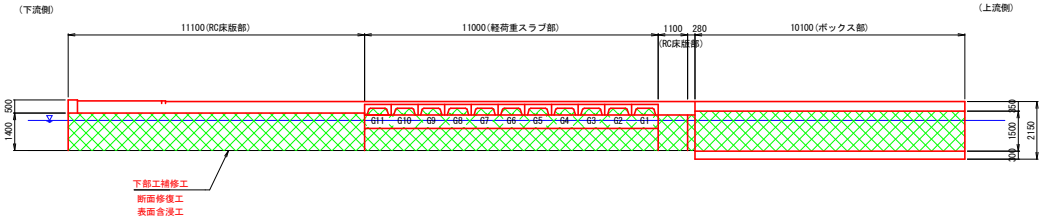
平面図



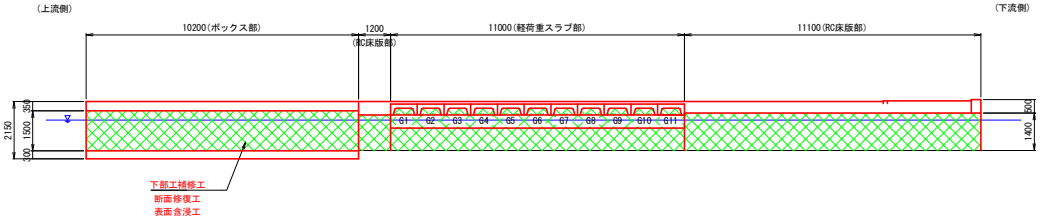
標準断面図



A1橋台



A2橋台



当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港振興線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港振興線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永（里浦９号橋他）		
図面名	補修一般図		
縮尺	Sc=1：100	図面番号	1 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

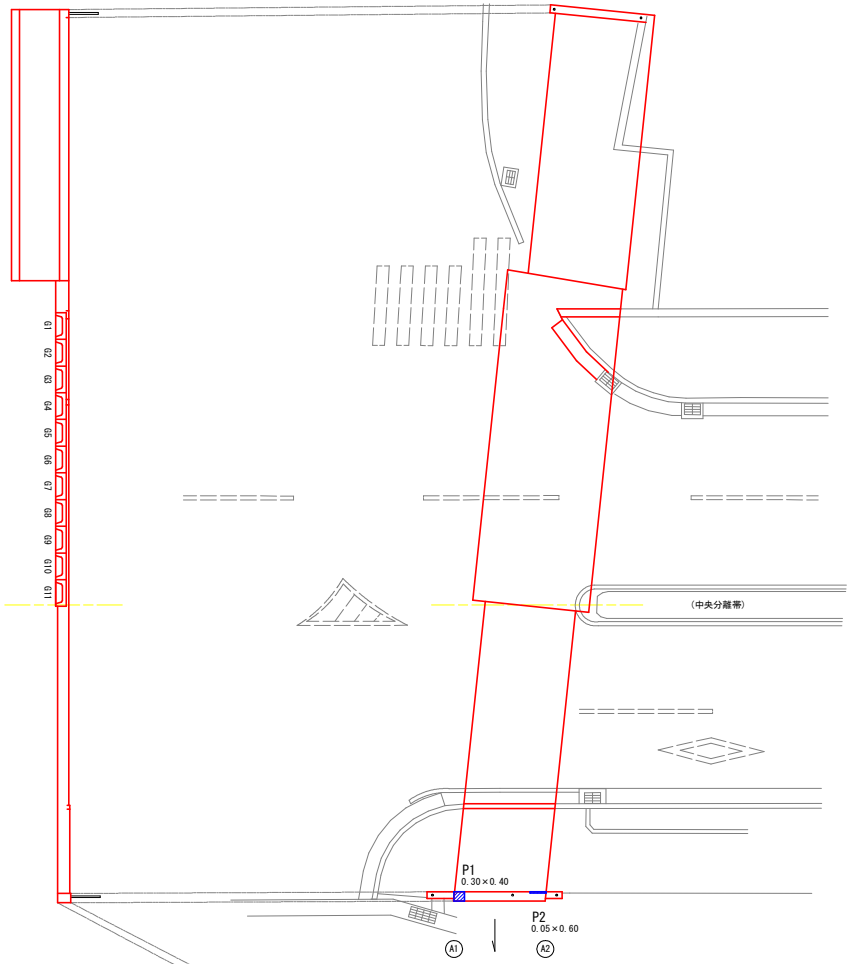
里浦9号橋 上部工補修図(その1)

S=1:100

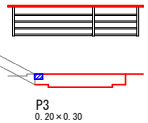
橋面

側面図(上流側)

平面図



側面図(下流側)



凡　例

補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工(幅0.5未満)	幅(mm)-長さ(m)
〃　(幅0.5～1.0未満)	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	

断面修復工

測点	寸法(m)			面積(m2)
P1	0.30	×	0.40	0.12
P2	0.05	×	0.60	0.03
P3	0.20	×	0.30	0.06
			合計	0.21 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	上部工補修図(その1)		
縮尺	Sc=1：100	図面番号	2 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

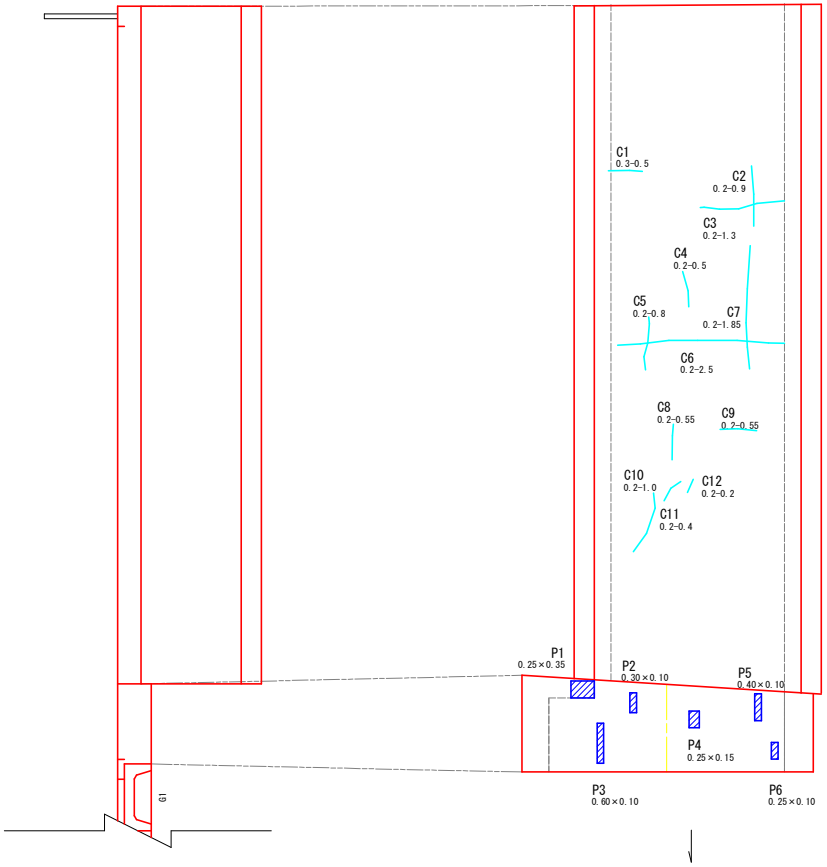
里浦9号橋 上部工補修図(その2)

S=1:40

桁下(ボックス部・RC床版部)

凡　例

補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工(幅0.5未満)	幅(mm)-長さ(m)
〃　(幅0.5～1.0未満)	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	



ひびわれ注入工

幅0.2～1.0未満	
測点	数量
C1	0.50
C2	0.90
C3	1.30
C4	0.50
C5	0.80
C6	2.50
C7	1.85
C8	0.55
C9	0.55
C10	1.00
C11	0.40
C12	0.20
計	11.05 m

断面修復工

測点	寸法(m)			面積(m2)
P1	0.25	×	0.35	0.09
P2	0.30	×	0.10	0.03
P3	0.60	×	0.10	0.06
P4	0.25	×	0.15	0.04
P5	0.40	×	0.10	0.04
P6	0.25	×	0.10	0.03
			合計	0.29 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他）鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	上部工補修図(その2)		
縮尺	Sc=1：40	図面番号	3 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

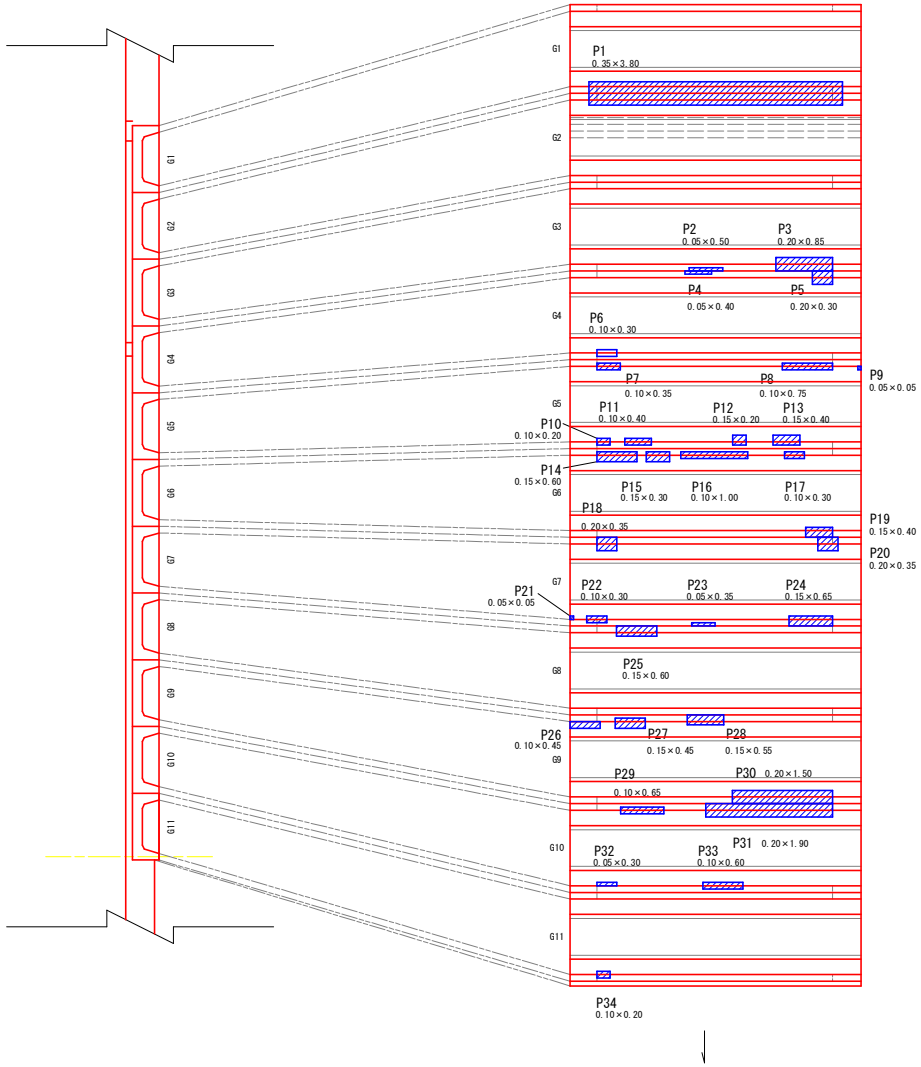
里浦9号橋　上部工補修図（その3）

S=1:40

桁下（軽荷重スラブ部）

凡　例

補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工（幅0.5未満）	幅(mm)-長さ(m)
〃　（幅0.5～1.0未満）	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	



断面修復工

測点	寸法(m)			面積(m2)	測点	寸法(m)			面積(m2)
P1	0.35	×	3.80	1.33	P21	0.05	×	0.05	0.01
P2	0.05	×	0.50	0.03	P22	0.10	×	0.30	0.03
P3	0.20	×	0.85	0.17	P23	0.05	×	0.35	0.02
P4	0.05	×	0.40	0.02	P24	0.15	×	0.65	0.10
P5	0.20	×	0.30	0.06	P25	0.15	×	0.60	0.09
P6	0.10	×	0.30	0.03	P26	0.10	×	0.45	0.05
P7	0.10	×	0.35	0.04	P27	0.15	×	0.45	0.07
P8	0.10	×	0.75	0.08	P28	0.15	×	0.55	0.08
P9	0.05	×	0.05	0.01	P29	0.10	×	0.65	0.07
P10	0.10	×	0.20	0.02	P30	0.20	×	1.50	0.30
P11	0.10	×	0.40	0.04	P31	0.20	×	1.90	0.38
P12	0.15	×	0.20	0.03	P32	0.05	×	0.30	0.02
P13	0.15	×	0.40	0.06	P33	0.10	×	0.60	0.06
P14	0.15	×	0.60	0.09	P34	0.10	×	0.20	0.02
P15	0.15	×	0.30	0.05					
P16	0.10	×	1.00	0.10					
P17	0.10	×	0.30	0.03					
P18	0.20	×	0.35	0.07					
P19	0.15	×	0.40	0.06					
P20	0.20	×	0.35	0.07			合計		3.69 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港揖養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港揖養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永（里浦９号橋他）		
図面名	上部工補修図（その3）		
縮尺	Sc=1：40	図面番号	4 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（徳島）		

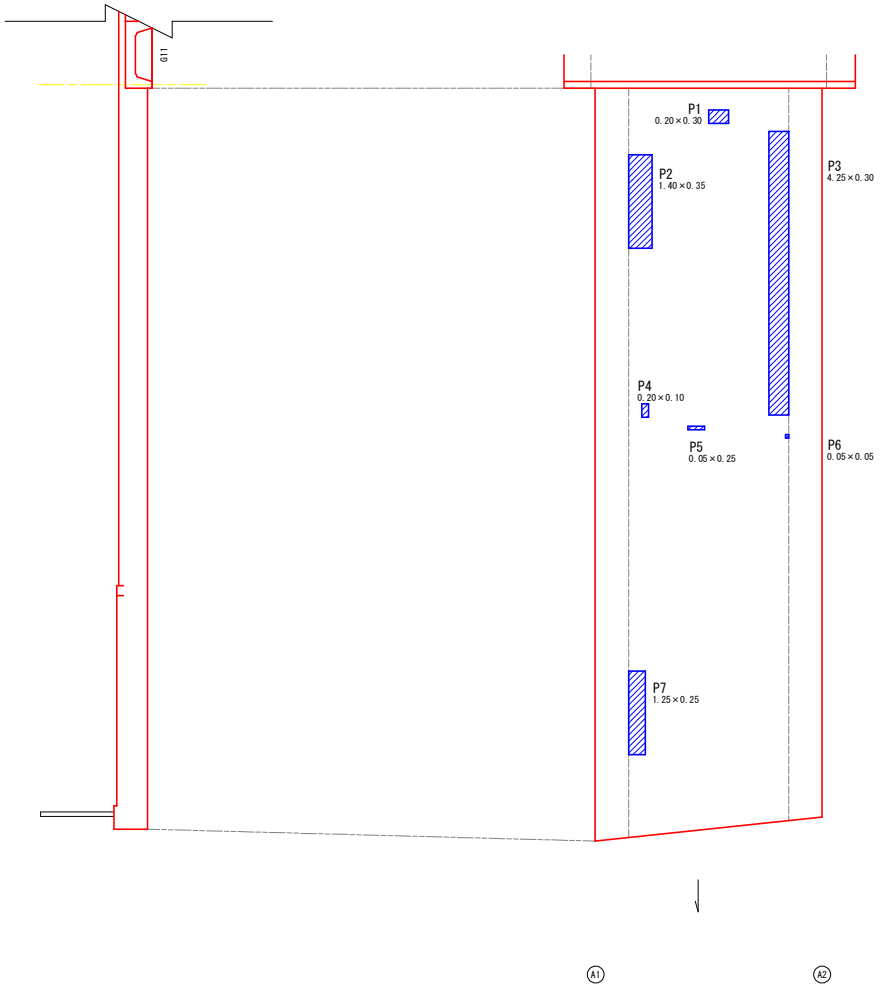
里浦9号橋　上部工補修図（その4）

S=1:40

桁下（RC床版部）

凡　例

補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工（幅0.5未満）	幅(mm)−長さ(m)
〃　（幅0.5～1.0未満）	幅(mm)−長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)−長さ(m)
断面修復工	



断面修復工

測点	寸法(m)			面積(m2)
P1	0.20	×	0.30	0.06
P2	1.40	×	0.35	0.49
P3	4.25	×	0.30	1.28
P4	0.20	×	0.10	0.02
P5	0.05	×	0.25	0.01
P6	0.05	×	0.05	0.01
P7	1.25	×	0.25	0.31
			合計	2.18 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永（里浦９号橋他）		
図面名	上部工補修図（その4）		
縮尺	Sc=1：40	図面番号	5 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局（徳島）		

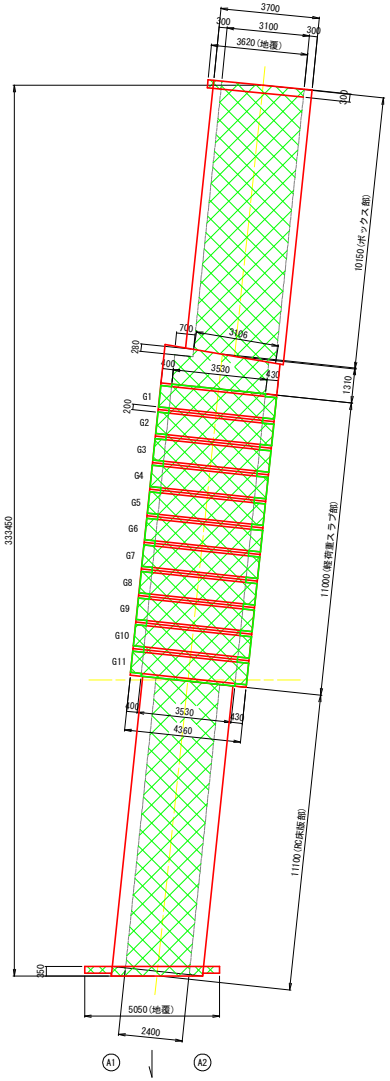
里浦9号橋　上部工補修図(その5)

表面含浸工

凡　例

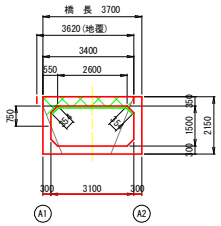
補修の種類	図面表示
表面含浸工	

平面図　S=1:100



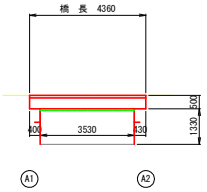
側面図　S=1:100

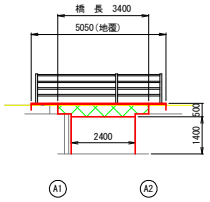
(ボックス部)



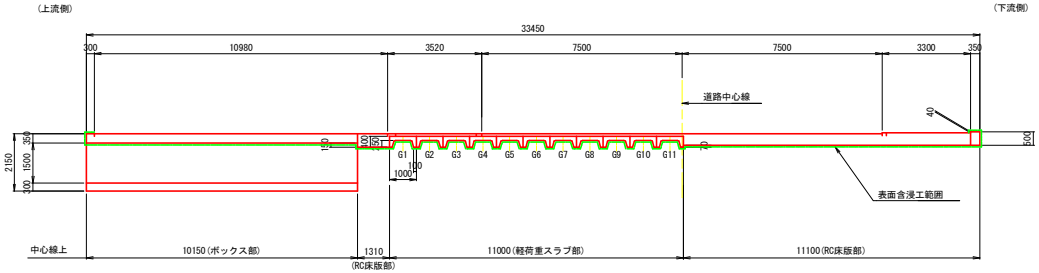
断面図

(軽荷重スラブ部)



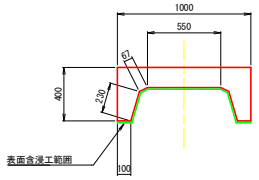


標準断面図　S=1:100



主桁詳細図　S=1:20

軽荷重スラブ
h=400, w=1000



1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	上部工補修図(その5)		
縮尺	Sc=1：100	図面番号	6 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

里浦9号橋 下部工補修図(その1)

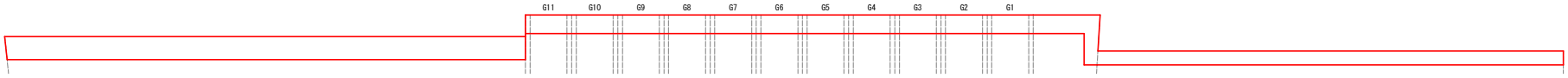
S=1:50

A1橋台

凡　例

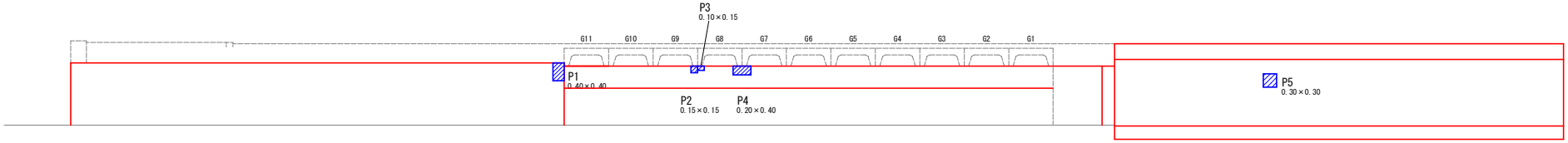
補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工(幅0.5未満)	幅(mm)-長さ(m)
〃　(幅0.5～1.0未満)	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	

平面図



正面図

(下流側)　　(上流側)



断面修復工

測点	寸法(m)			面積(m2)
P1	0.40	×	0.40	0.16
P2	0.15	×	0.15	0.02
P3	0.10	×	0.15	0.02
P4	0.20	×	0.40	0.08
P5	0.30	×	0.30	0.09
			合計	0.37 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港揖養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港揖養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	下部工補修図(その1)		
縮尺	Sc=1：50	図面番号	7 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

里浦9号橋 下部工補修図(その2)

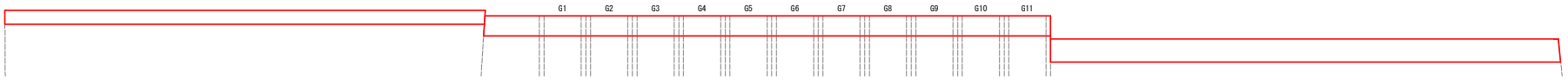
S=1:50

A2橋台

凡　例

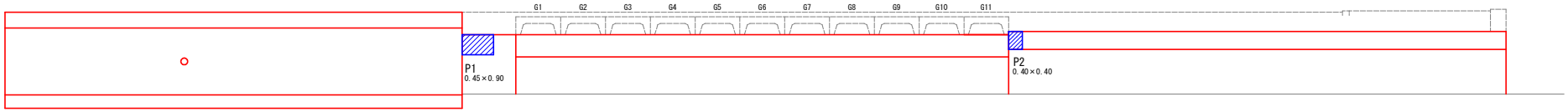
補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工(幅0.5未満)	幅(mm)-長さ(m)
〃　(幅0.5～1.0未満)	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	

平面図



正面図

(上流側)　　(下流側)



断面修復工

測点	寸法(m)			面積(m2)
P1	0.45	×	0.90	0.41
P2	0.40	×	0.40	0.16
			合計	0.57 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港播養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港播養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	下部工補修図(その2)		
縮尺	Sc=1：50	図面番号	8 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

里浦9号橋 下部工補修図(その3)

S=1:50

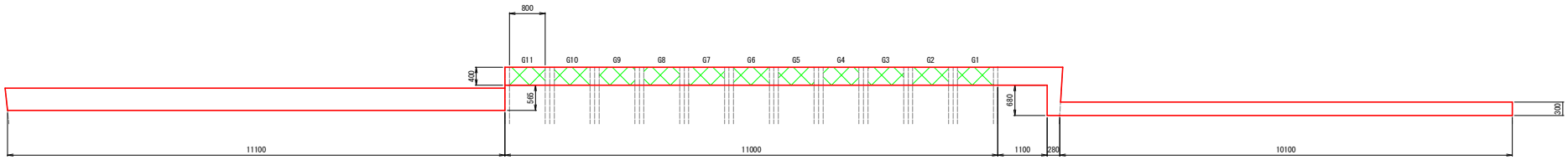
表面含浸工

A1橋台

凡　例

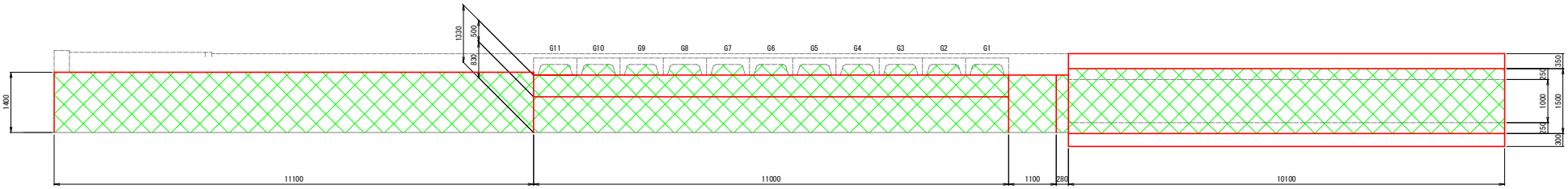
補修の種類	図面表示
表面含浸工	

平面図

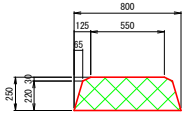


正面図

(下流側)　　(上流側)

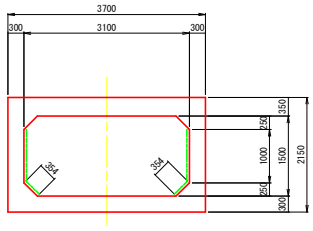


軽荷重スラブ部　S=1:20



断面図　S=1:50

(ボックス部)



1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港揖養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）
路線名等	粟津港揖養線
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)
図面名	下部工補修図(その3)
縮尺	Sc=1：50
図面番号	9 / 20
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

里浦9号橋　下部工補修図(その4)

S=1:50

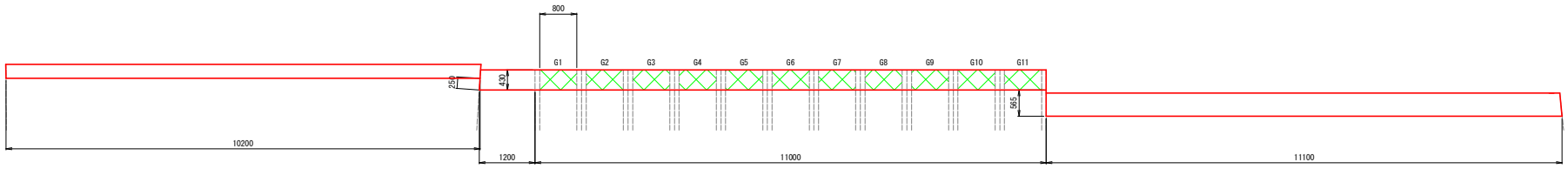
表面含浸工

A2橋台

凡　例

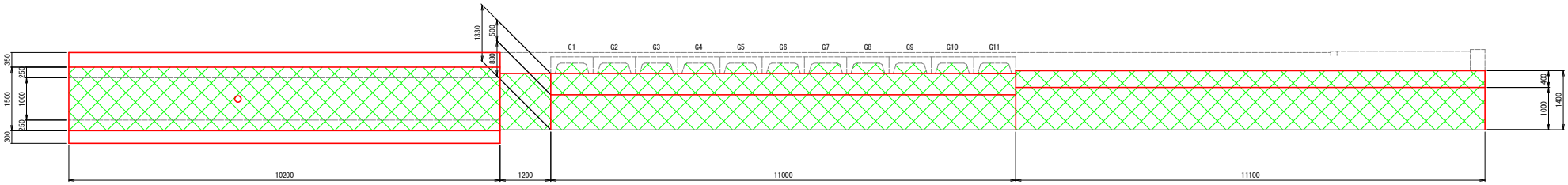
補修の種類	図面表示
表面含浸工	

平面図

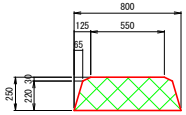


正面図

(上流側)　　(下流側)

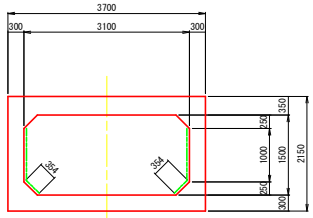


軽荷重スラブ部　S=1:20



断面図　S=1:50

(ボックス部)



1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

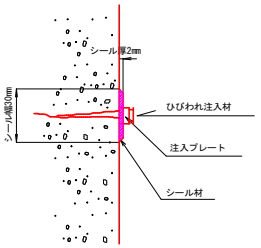
当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港揖養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）
路線名等	粟津港揖養線
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)
図面名	下部工補修図(その4)
縮尺	Sc=1：50　図面番号　10 / 20
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

里浦9号橋　補修標準図

ひびわれ注入工

（エポキシ樹脂系）



注）ひびわれ注入は幅0.2mm以上を行うこととし、
補修工事の際は設計図と現地状況を確認の上、
変化がある場合について協議を行うこと

※　施工手順

1　表面処理

↓

2　注入プレート貼付

↓

3　シール材塗布

↓

4　注　入

↓

5　養　生

↓

6　仕上げ

※　注

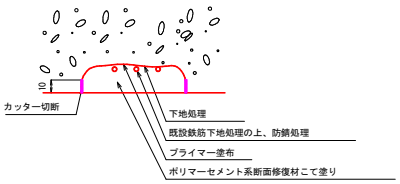
1．注入対象となるひびわれは、ひびわれ幅0.2mm以上のもとする。

2．ひびわれ注入深さは、0.05mを想定しているが、ひびわれの
最深部まで確実に注入すること。

3．注入パイプの間隔は、30cm程度とする。

断面修復工

（ポリマーセメントモルタル）



※　施工手順

1　カッター切断

↓

2　コンクリートはつり

↓

3　下地処理

↓

4　鉄筋防錆処理

↓

5　プライマー塗布

↓

6　断面修復材こて塗り

※　注

1．劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲
に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工
する。

2．使用材料

断面修復材

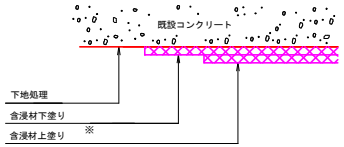
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案)
[工法別マニュアル編] 平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足
するものとする。

力 学 的 性 能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること 設計基準強度以上 プレストレストコンクリート　50N/mm2 鉄筋コンクリート　24N/mm2 無筋コンクリート　18N/mm2
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.0N/mm2以上)

3．塗り重ねについては一層あたり30mmを目安とする。

表面含浸工

（ケイ酸リチウム・シラン混合型）



※　施工手順

1　下地処理および清掃工

↓

2　下塗り：含浸材下塗

↓

3　上塗り：含浸材上塗
（※ 1回塗りの場合は省略）

↓

4　養生

※　注

1．（社）土木学会 コンクリートライブラリー表面保護工法
設計施工指針(案)(第5章 施工P38～)に準拠する。

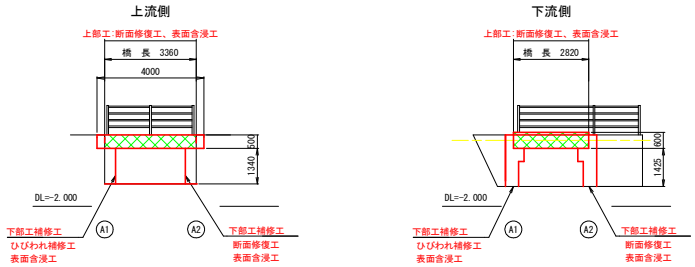
当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	補修標準図		
縮尺	-	図面番号	11 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

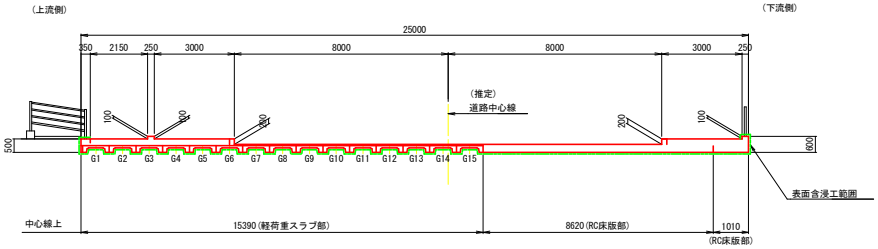
里浦10号橋 補修一般図

S=1:100

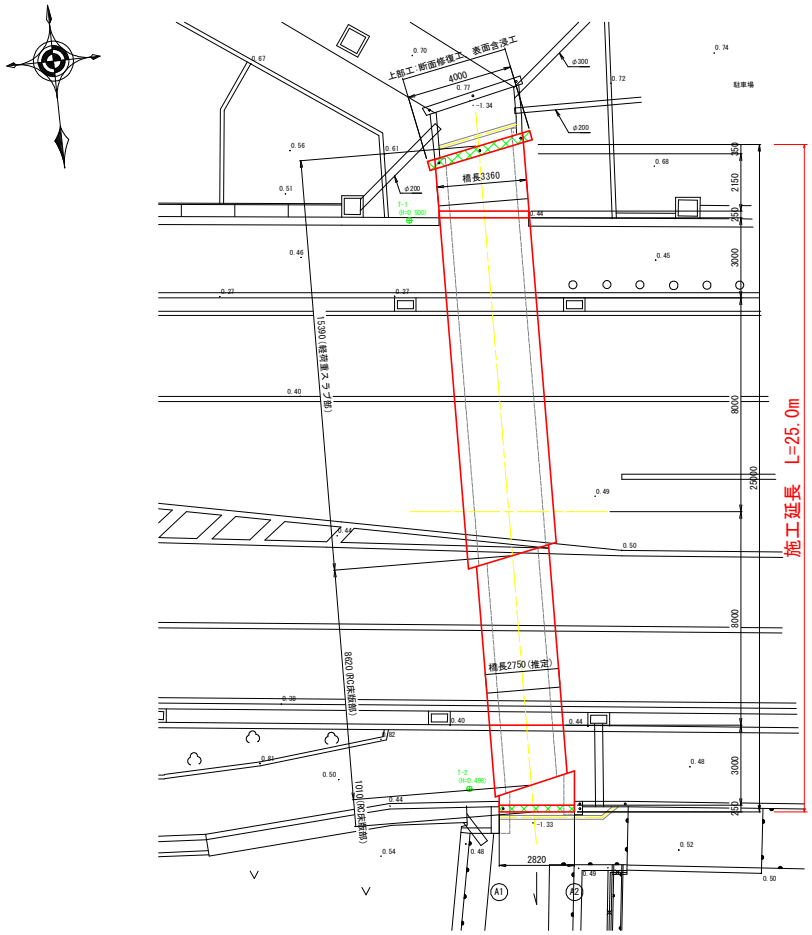
側面図



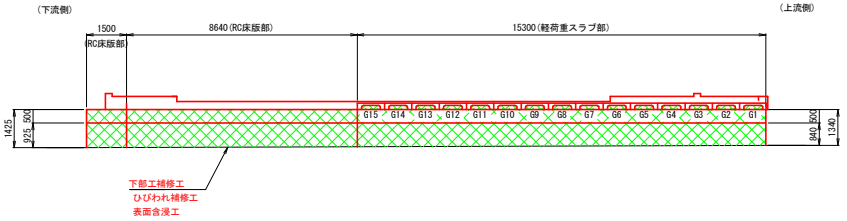
標準断面図



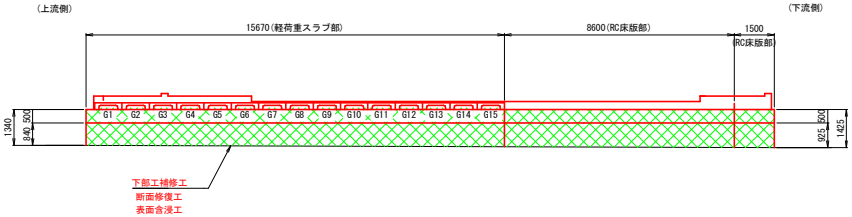
平面図



A1橋台



A2橋台



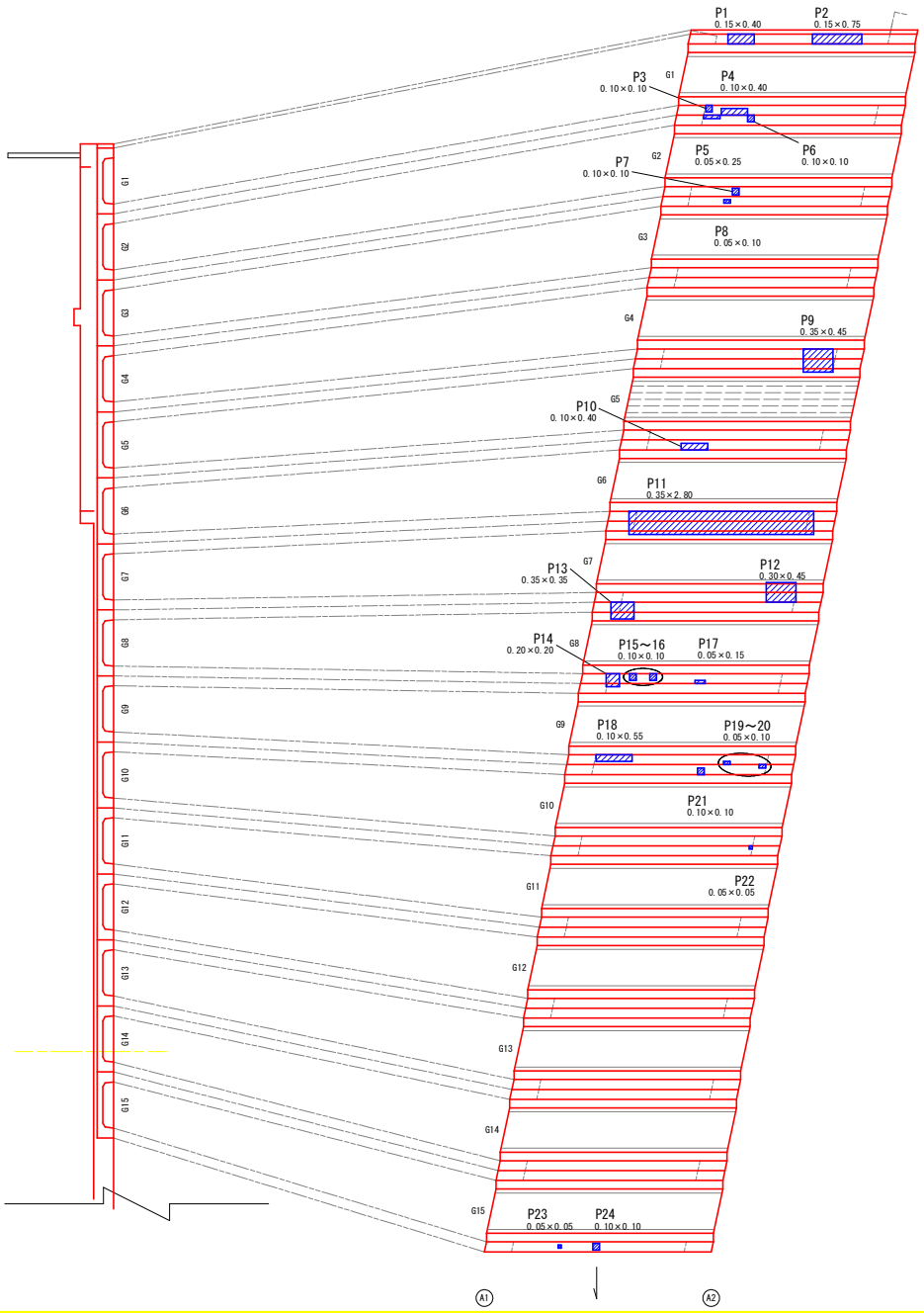
当初設計図面

工事名	R７徳土　栗津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	栗津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永（里浦９号橋他）		
図面名	補修一般図		
縮尺	Sc=1：100	図面番号	12 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

里浦10号橋 上部工補修図(その1)

S=1:40

桁下(軽荷重スラブ部)



凡　例

補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工(幅0.5未満)	幅(mm)-長さ(m)
〃　(幅0.5～1.0未満)	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	

断面修復工

測点	寸法(m)			面積(m2)
P1	0.15	×	0.40	0.06
P2	0.15	×	0.75	0.11
P3	0.10	×	0.10	0.01
P4	0.10	×	0.40	0.04
P5	0.05	×	0.25	0.01
P6	0.10	×	0.10	0.01
P7	0.10	×	0.10	0.01
P8	0.05	×	0.10	0.01
P9	0.35	×	0.45	0.16
P10	0.10	×	0.40	0.04
P11	0.35	×	2.80	0.98
P12	0.30	×	0.45	0.14
P13	0.35	×	0.35	0.12
P14	0.20	×	0.20	0.04
P15	0.10	×	0.10	0.01
P16	0.10	×	0.10	0.01
P17	0.05	×	0.15	0.01
P18	0.10	×	0.55	0.06
P19	0.05	×	0.10	0.01
P20	0.05	×	0.10	0.01
P21	0.10	×	0.10	0.01
P22	0.05	×	0.05	0.01
P23	0.05	×	0.05	0.01
P24	0.10	×	0.10	0.01
			合計	1.89 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他）鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	上部工補修図(その1)		
縮尺	Sc=1：40	図面番号	13 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

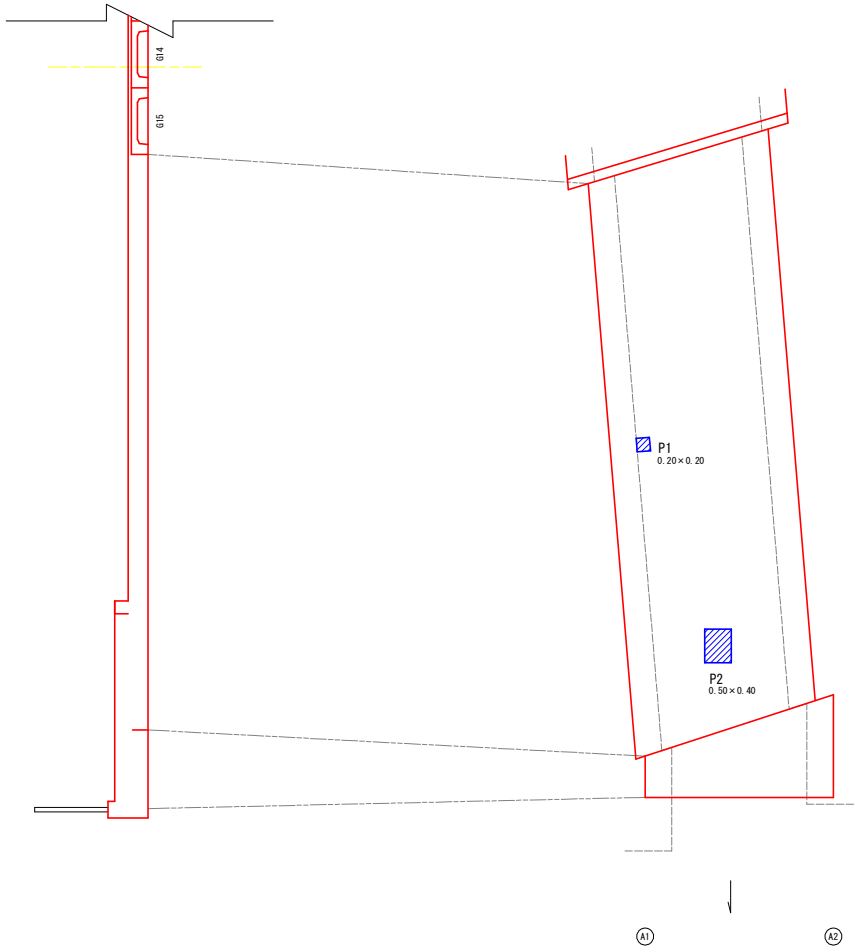
里浦10号橋 上部工補修図(その2)

S=1:40

桁下(RC床版部)

凡　例

補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工(幅0.5未満)	幅(mm)-長さ(m)
〃　(幅0.5～1.0未満)	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	



断面修復工

測点	寸法(m)			面積(m2)
P1	0.20	×	0.20	0.04
P2	0.50	×	0.40	0.20
			合計	0.24 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他）鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	上部工補修図(その2)		
縮尺	Sc=1：40	図面番号	14 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

里浦10号橋 上部工補修図(その3)

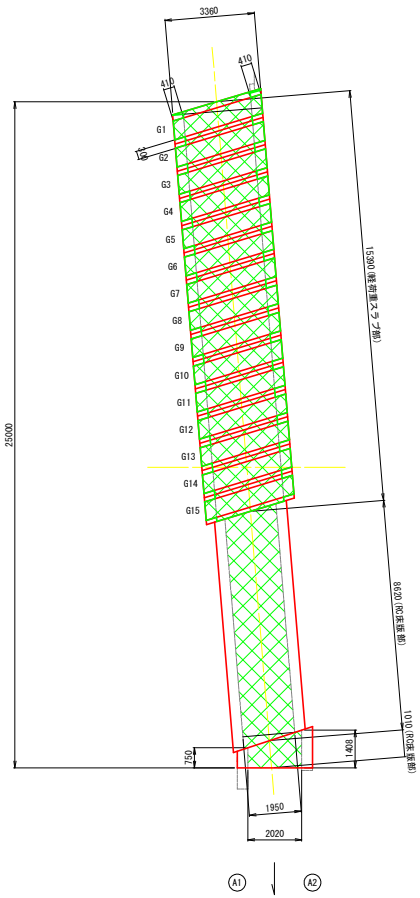
表面含浸工

凡　例

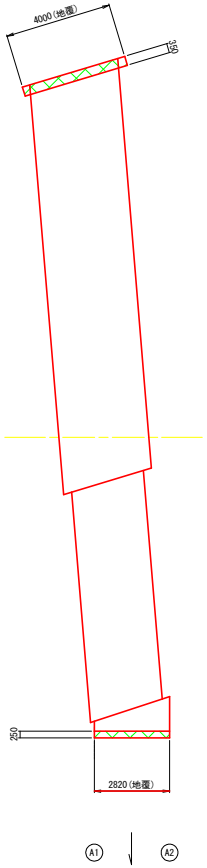
補修の種類	図面表示
表面含浸工	

平面図　S=1:100

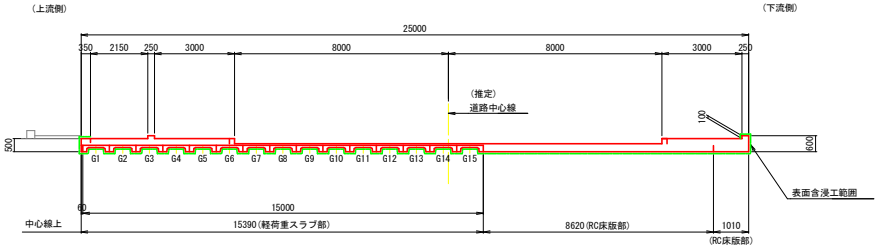
桁下



橋面

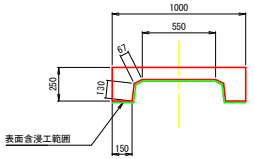


標準断面図



主桁詳細図　S=1:20

軽荷重スラブ
h=250, w=1000



1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）
路線名等	粟津港撫養線
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)
図面名	上部工補修図(その3)
縮尺	Sc=1：100　図面番号　15 / 20
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

里浦10号橋 下部工補修図(その1)

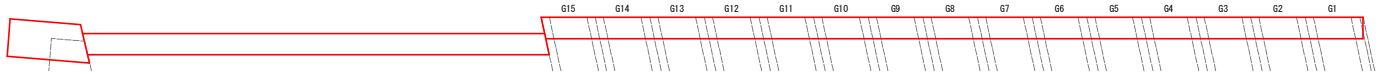
S=1:50

A1橋台

凡　例

補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工(幅0.5未満)	幅(mm)-長さ(m)
〃　(幅0.5～1.0未満)	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	

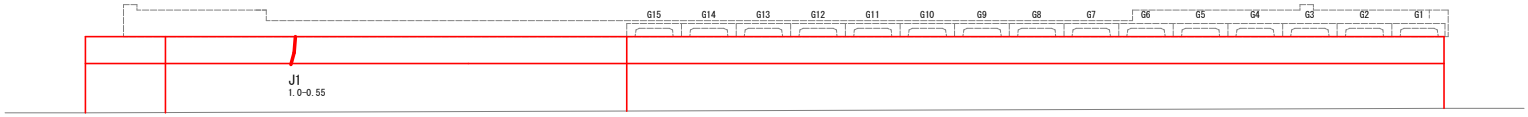
平面図



正面図

(下流側)

(上流側)



ひびわれ充填工

幅1.0以上	
測点	数量
J1	0.55
計	0.55 m

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港揖養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港揖養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)		
図面名	下部工補修図(その1)		
縮尺	Sc=1：50	図面番号	16 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		

里浦10号橋 下部工補修図(その2)

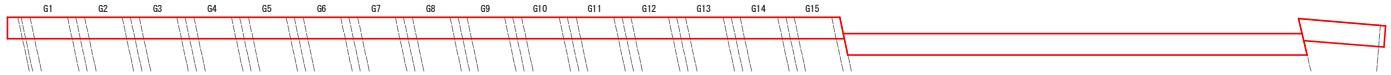
S=1:50

A2橋台

凡　例

補修の種類	図面表示
ひびわれ注入工(幅0.5未満)	幅(mm)-長さ(m)
〃　(幅0.5～1.0未満)	幅(mm)-長さ(m)
ひびわれ充填工	幅(mm)-長さ(m)
断面修復工	

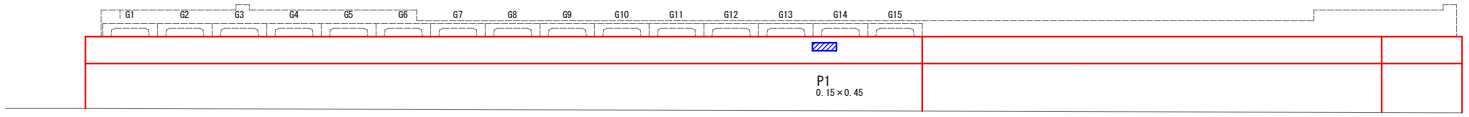
平面図



正面図

(上流側)

(下流側)



断面修復工

測点	寸法(m)	面積(m2)
P1	0.15 × 0.45	0.07
	合計	0.07 m2

1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）
路線名等	粟津港撫養線
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)
図面名	下部工補修図(その2)
縮尺	Sc=1：50　図面番号　17 / 20
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

里浦10号橋 下部工補修図(その3)

S=1:50

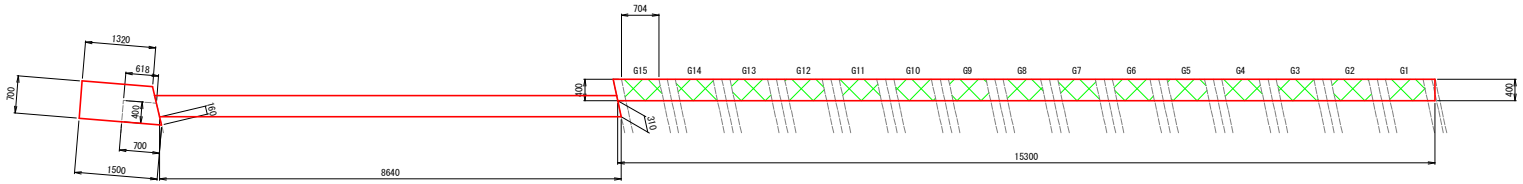
表面含浸工

A1橋台

凡　例

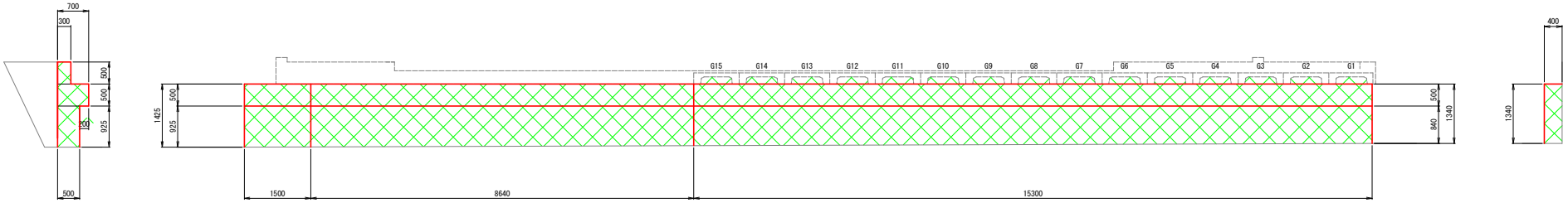
補修の種類	図面表示
表面含浸工	

平面図

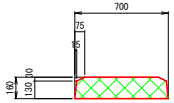


正面図

(下流側)　　(上流側)



軽荷重スラブ部　S=1:20



1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港播養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）
路線名等	粟津港播養線
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)
図面名	下部工補修図(その3)
縮尺	Sc=1：50
図面番号	18 / 20
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

里浦10号橋　下部工補修図(その4)

S=1:50

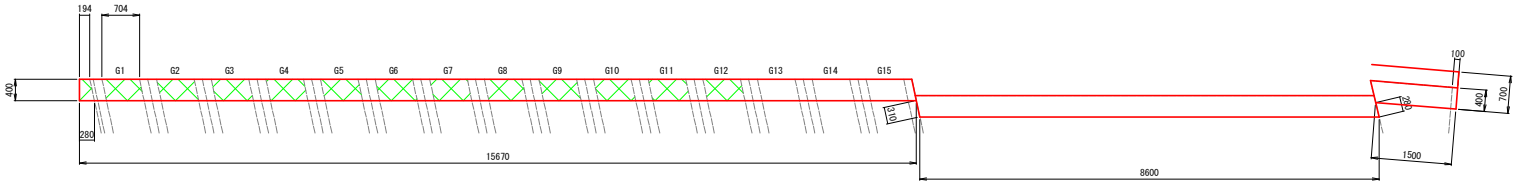
表面含浸工

A2橋台

凡　例

補修の種類	図面表示
表面含浸工	

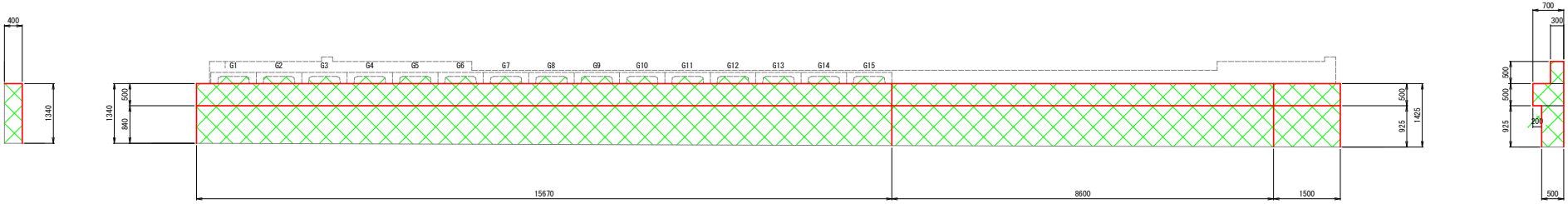
平面図



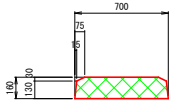
正面図

(上流側)

(下流側)



軽荷重スラブ部　S=1:20



1. 施工前には必ず現況寸法実測を行い、図面照合等の確認ののち施工箇所を決定すること。

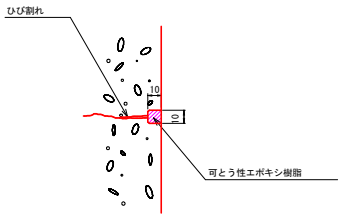
当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）
路線名等	粟津港撫養線
工事箇所	鳴門市大津町吉永(里浦９号橋他)
図面名	下部工補修図(その4)
縮尺	Sc=1：50
図面番号	19 / 20
会社名	
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)

里浦10号橋　補修標準図

ひびわれ充填工

（可とう性エポキシ樹脂）



注）ひびわれ充填は幅1.0mm以上を行うこととし、
施工前に再調査し、施工箇所を決定すること。

※　施工手順

1　ひび割れ部のU字カット
↓
2　清掃
↓
3　プライマー塗布
↓
（4　バックアップ材挿入）
↓
5　充填材を充填
↓
6　養　生

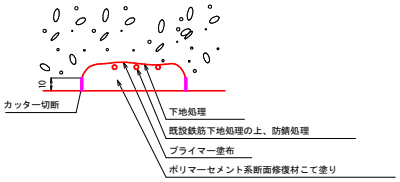
※　注

1．充填対象となるひびわれは、ひびわれ幅1.0mm以上のものとする。

2．ひび割れに沿って約10mmの幅で、円錐状のダイヤモンドビット等により、U字形にカットする。

断面修復工

（ポリマーセメントモルタル）



※　施工手順

1　カッター切断
↓
2　コンクリートはつり
↓
3　下地処理
↓
4　鉄筋防錆処理
↓
5　プライマー塗布
↓
6　断面修復材こて塗り

※　注

1．劣化、不良コンクリートのはつりは、健全部に損傷をあたえないよう周囲に深さ1cm程度コンクリートカッターにより切断目地を入れ、入念に施工する。

2．使用材料

断面修復材

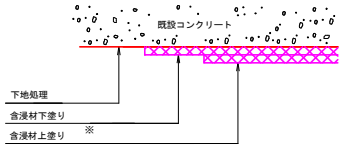
無収縮ポリマーセメントモルタルとし、「表面保護工法 設計施工指針(案)［工法別マニュアル編］平成17年土木学会」に示す断面修復材の規格を満足するものとする。

力 学 的 性 能	
要求性能	設計及び施工条件
圧縮強度	躯体コンクリートと同等な強度特性を有すること 設計基準強度以上 プレストレストコンクリート　50N/mm2 鉄筋コンクリート　24N/mm2 無筋コンクリート　18N/mm2
付着強度	躯体コンクリートと一体となること (1.0N/mm2以上)

3．塗り重ねについては一層あたり30mmを目安とする。

表面含浸工

（ケイ酸リチウム・シラン混合型）



※　施工手順

1　下地処理および清掃工
↓
2　下塗り：含浸材下塗
↓
3　上塗り：含浸材上塗
（※ 1回塗りの場合は省略）
↓
4　養生

※　注

1．（社）土木学会 コンクリートライブラリー表面保護工法 設計施工指針(案)(第5章 施工P38～)に準拠する。

当初設計図面

工事名	R７徳土　粟津港撫養線（里浦9号橋他） 鳴・大津吉永　橋梁修繕工事（担い手確保型）		
路線名等	粟津港撫養線		
工事箇所	鳴門市大津町吉永（里浦９号橋他）		
図面名	補修標準図		
縮尺	-	図面番号	20 / 20
会社名			
事業者名	徳島県東部県土整備局(徳島)		